

## ルガゾールC (表面凝結遅延剤)

コンクリート打継目処理剤

NETIS 登録番号 KT-140119-VE

概要	<p>ルガゾールCは、グルコン酸塩を主成分とするコンクリート打継目処理剤です。コンクリート打継目に散布または塗布することにより、コンクリート表面薄層部の凝結・硬化を遅延させ、高圧洗浄機などで、レイタンスや脆弱部の除去を容易にまた均一に行うことができます。</p> <p>ルガゾールCは、建設技術審査証明(土木系材料・製品・技術、道路保全技術 建技審証第0220号)を一般財団法人 土木研究センターより取得すると共にNETIS(新技術情報提供システム)に登録しています。</p>
用途	<ul style="list-style-type: none"><li>■コンクリートの水平打継目処理</li><li>■骨材洗い出し化粧仕上げ など</li></ul>
特長	<ul style="list-style-type: none"><li>■コンクリート打継面のレイタンスや脆弱部を容易、かつ均一に除去できます。</li><li>■コンクリート表面薄層部のみ遅延させるため、レイタンスや脆弱部の除去処理の時間的制約が少なくなります。</li><li>■コンクリート打継引張強度のバラツキも少なく、チッピング処理と同程度以上になります。</li><li>■ウエットブラスト、チッピング処理に比べて経済的で、工程短縮・省力化が図れます。</li><li>■コンクリートや鉄筋に悪影響を与えません。</li></ul>

### 主成分および物性

製品名	主成分	外観	密度 (g/cm <sup>3</sup> )	pH	粘度 (mPa·s)
ルガゾールC	グルコン酸塩	淡褐色液体	1.05~1.07	8.0	5

pH、粘度は測定値例

### 使用量および使用方法

- ・標準使用量は原液で300g/m<sup>2</sup>です。(200~400g/m<sup>2</sup>)
- ・ルガゾールCはコンクリート水平上面に散布して使用します。
- ・コンクリート打設後、コテなどを用いてコンクリート表面をならします。
- ・ブリーティング水が収まる頃に(凝結始発前に)噴霧器などでルガゾールCをコンクリート表面に均一になるように散布します。
- ・散布後、養生マットなどで覆い、乾燥や雨から保護して下さい。
- ・6~24時間後に高圧洗浄機などでコンクリート表面の薄層部を洗い流します。(水が使用できない場合はジェットタガネなどを使用して下さい)
- ・洗い出し終了後のコンクリートは十分に養生を行って下さい。

### 保存期間

未開封で直射日光を避け冷暗所に保管して6カ月

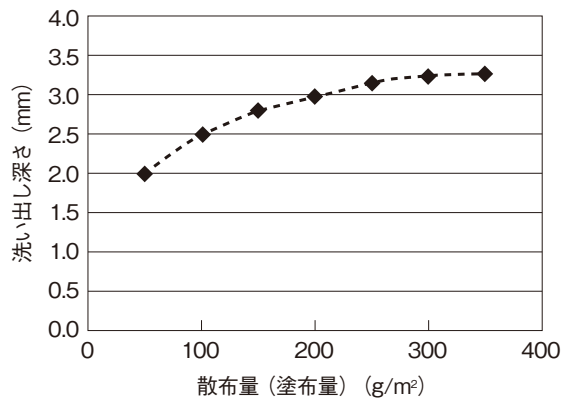
### 荷姿

18kg缶

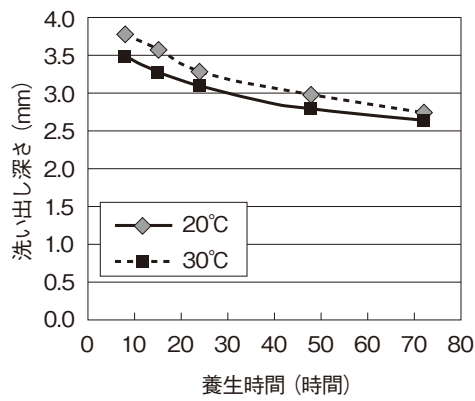


## 性能

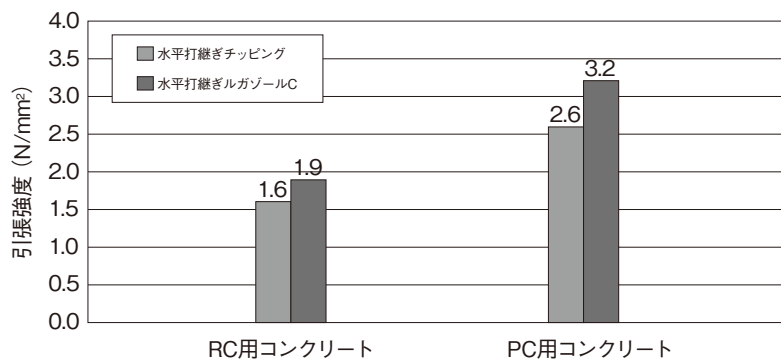
### 散布量(塗布量)と洗い出し深さの関係



### 養生時間と洗い出し深さの関係



### コンクリート打継引張強度



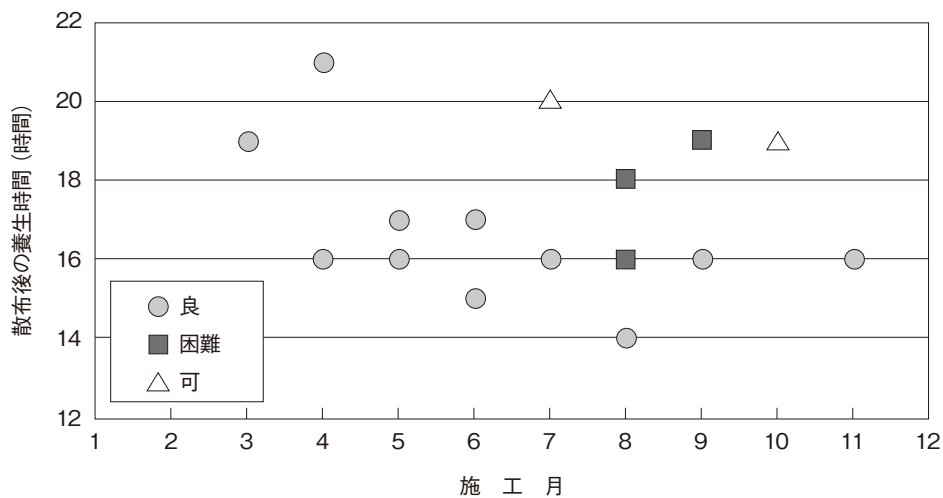
## ルガゾールCの洗い出し時間（養生シートを使用しない場合）

No.	施工時期	散布時刻	洗出時刻	養生時間	コンクリート強度 (N/mm <sup>2</sup> )	散布量 (g/m <sup>2</sup> )	天候 (散布/洗出)	気温 (°C) (散布/洗出)	最低気温 (°C)	風力	結果
1	4月	17:00	9:00	16	21	300	曇/曇	18/12	7	強	良
2	4月	13:00	10:00	21	—	300	晴/晴	17/10	5	弱	良
3	3月	14:00	9:00	19	21	300	晴/晴	10/5	2	弱	良
4	7月	17:00	9:00	16	24	300	曇/晴	26/22	21	弱	良
5	8月	15:00	9:00	18	—	300	晴/曇	26/24	22	—	困難
6	10月	17:00	12:00	19	21	300	晴/晴	17/14	11	中	可
7	11月	16:00	8:00	16	—	300	晴/曇	13/11	9	弱	良
8	6月	16:00	9:00	17	21	300	曇/曇	24/20	18	中	良
9	6月	17:00	8:00	15	—	300	晴/晴	25/21	19	中	良
10	9月	16:00	11:00	19	21	300	晴/晴	27/22	17	中	困難
11	5月	16:00	9:00	17	21	300	曇/晴	19/18	15	弱	良
12	5月	17:00	9:00	16	—	300	晴/晴	14/10	8	弱	良
13	7月	12:00	8:00	20	—	300	曇/曇	24/19	17	中	可
14	8月	16:00	10:00	18	21	300	晴/晴	30/27	26	弱	困難
15	8月	17:00	7:00	14	21	300	晴/曇	29/26	24	弱	良
16	9月	17:00	9:00	16	21	300	曇/曇	26/20	18	弱	良
17	9月	15:00	8:00	17	—	300	晴/曇	26/23	18	弱	良
18	3月	15:00	10:00	19	21	300	曇/曇	16/10	5	弱	良
19	5月	16:00	9:00	17	—	300	晴/晴	21/17	12	弱	良

注1：風力 強=5m/s以下 中=3m/s前後 弱=1m/s以下

注2：結果 良=全面洗い出し可 可=若干洗い出し時間必要 困難=一部洗い出し不可

## 施工月と養生時間（養生シートを使用しない場合）



養生シートを使用しない場合は、直射日光や風などによりコンクリート表面が乾燥して固まり、物理的にコンクリート薄層部が取れにくくなるため早めの洗い出しが必要となります。

## ヒメダカによるルガゾールCの急性毒性試験

(ヒメダカZ使用 各群10匹)

試験濃度 (mg/リットル)	死亡率(%)	
	24時間	48時間
50,000	0	0
35,000	0	0
25,000	0	0
17,500	0	0
対照区	0	0

ルガゾールCは50000mg/リットル(5%)以下の濃度であれば魚類などに悪影響をおよぼしません。

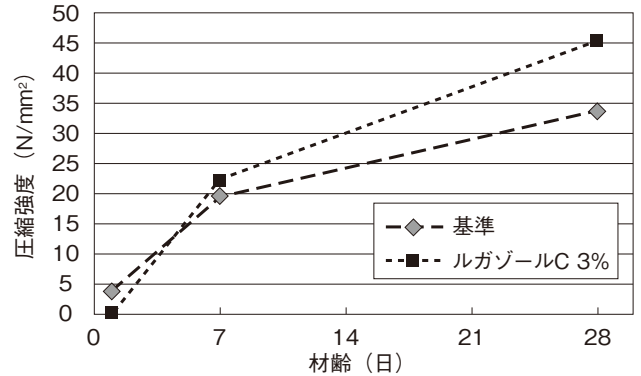
## ルガゾールCを混入したコンクリートの圧縮強度

セメント:普通ポルトランドセメント

骨材:川砂利、川砂

水セメント比:56.4%

ルガゾールC混入量:セメント質量×3%



ルガゾールCが3%コンクリートに混入した場合、初期は強度が出ませんが28日強度においては基準コンクリート以上の強度となっています。

## 注意

### 使用

- ・コンクリート洗い出し可能時間や洗い出し深さは、コンクリートの材料(セメント、骨材など)、配合、温度などの条件により変わる場合があります。
- ・推奨する使用量の範囲外で使用する場合は、あらかじめ試験を行った上でご使用下さい。
- ・高強度コンクリートに使用する場合は通常より洗い出しに時間が掛かる傾向がありますので、あらかじめ試験を行うことをお勧めします。
- ・側型枠が近くにある位置での水平打継目処理の際は、ルガゾールCが型枠面に沿って流入することがあるため、散布をひかえるか、防止用の面木、垂木などをコンクリート天端に固定し防止して下さい。
- ・一度開封され、材料が比較的長時間直射日光に曝された場合、色が抜けて透明に近くなる場合がありますが、性能に変化はありません。
- ・多量のルガゾールCを誤ってコンクリート面に散布したり、こぼした場合は、ルガゾールCおよびその部分のコンクリートを除去して下さい。

### 取扱いおよび 応急措置

- ・長時間皮膚に触れたり、目や口に入らないように注意して下さい。
- ・皮膚に付着した場合は水と石鹸で速やかに洗い流して下さい。目に入った場合は、直ちに15分以上大量の水で洗い流し、飲み込んだ場合は直ちに吐かせて、口腔内を洗い、医師の診断を受けて下さい。
- ・詳細は製品安全データシートを参照して下さい。

### 保管

- ・直射日光を避け、冷暗所で密封して凍結しないように保管して下さい。また、開封後はできるだけ早く使い切るようにし、異物が混入しないように注意して下さい。
- ・凍結した場合(氷点:-1℃)は自然解凍させ、よく混合して使用して下さい。

### 廃棄

産業廃棄物処理業者に委託して下さい。

シーカ製品の適用および使用に関する情報および勧告は、当社の最新の知識および経験に従っているものであり、通常の条件下で適切に保管、処理および適用されることを前提としております。実際には材料、配合および現場の条件がそれぞれ異なるため、ここに記載されている情報、書面での勧告、その他のアドバイスは、商品性や特定目的への適合性について保証するものではなく、また、法的関係から生ずる責任をもたらしません。ユーザーは、シーカ製品がユーザーの使用目的および施工方法に適しているかをあらかじめ確認して下さい。当社は、製品の特性を変更する権利を留保します。第三者の権利は尊重されなければなりません。すべての注文は、当社の最新の販売・納品条件に従って受注されます。ユーザーは常に使用する製品のプロダクトデータシートの最新版に留意して下さい。プロダクトデータシートの最新版はご請求いただければ当社が提供いたします。著作権法により無断複写複製及び無断転載は禁止されています。

日本シーカ株式会社  
 コンクリート用建設資材本部  
 〒108-6110 東京都港区港南2-15-2品川インターシティB棟10F  
 TEL03-6433-2311 FAX03-6433-2102  
<http://www.sika-japan.co.jp/>

